

# 千葉市の財務書類4表（平成20年度）

市の財政情報を分かりやすく開示するため、基準モデルにより、平成20年度決算に係る単体・連結ベースでの財務書類4表を作成しました。

今後、財務書類4表により明らかになった資産・債務の実態や世代間負担の衡平等の状況を踏まえ、新たに策定した「財政健全化プラン」に基づき、税収等の歳入確保や各種経費の節減、地方債の発行抑制など、健全な財政運営に努めてまいります。

- 市民1人当たりの資産・負債・純資産及び行政コスト（連結ベース）  
資産：328万円 負債：139万円 純資産：189万円 行政コスト：42万円  
（平成21年3月31日現在人口：925,951人）
- 総資産のうち、将来世代の負担義務のない正味の財産である純資産の比率は、連結ベースで58%となっています。これは、本市が政令指定都市移行後、急速に都市基盤整備を進めてきたことから、資産形成に係る将来世代への負担が大きい状況にあると考えられます。

## （1）貸借対照表（平成21年3月31日現在）

基準日（平成21年3月31日）における財政状態（資産・負債・純資産の残高）を示します。

（単位：百万円）

【資産の部】		単体	連結	【負債の部】		単体	連結
1 金融資産		74,161	79,190	1 流動負債		65,210	74,541
(1) 資金		14,668	19,887	(1) 未払金		4,951	8,309
(2) 債権		32,829	28,154	(2) 翌年度償還 予定地方債		45,934	45,934
(3) 有価証券		0	2,527	(3) 賞与引当金ほか		14,326	20,299
(4) 投資等 出資金、基金・積立金等		26,664	28,622	2 非流動負債		1,173,533	1,215,150
2 非金融資産		2,910,339	2,960,558	(1) 地方債		1,065,341	1,065,341
(1) 事業用資産 学校、市営住宅、病院等		1,163,240	1,170,512	(2) 退職給付引当金		70,184	72,459
(2) インフラ資産 道路、公園、下水道等		1,745,844	1,788,790	(3) 借入金ほか		38,009	77,351
(3) 繰延資産		1,256	1,256	負債合計		1,238,744	1,289,692
資産合計		2,984,501	3,039,748	【純資産の部】		単体	連結
				純資産合計		1,745,757	1,750,056
				負債・純資産合計		2,984,501	3,039,748

- ・3兆円以上の資産を保有しており、そのうち学校・道路などの非金融資産が97%を占めています。
- ・資産額から負債額を除いた純資産額は、1兆7,501億円となっています。

## （2）行政コスト計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

1年間の行政活動のうち、福祉活動などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費とその行政サービスの直接の対価として得られた収入金等の財源の対比を示します。

（単位：百万円）

【経常費用】		単体	連結
1 経常業務費用		194,864	204,855
(1) 人件費 職員給料、議員報酬、退職給付引当金繰入等		75,241	84,717
(2) 物件費 消耗品費、減価償却費、施設維持補修費等		35,454	42,902
(3) 経費 委託費、賃借料等		60,527	52,618
(4) 業務関連費用 公債費(利子分)		23,642	24,618
2 移転支出 各種団体への補助金、社会保障給付費等		188,833	187,976
経常費用合計		383,697	392,832
【経常収益】		58,795	68,157
【純経常費用】		324,902	324,675

- ・経常費用合計は3,928億円となり、およそ半分が補助金、社会保障給付費などの移転支出で占めています。
- ・経常費用から経常収益を引いた純経常費用は3,247億円となっており、この不足分は税収等で賄っています。

## （3）純資産変動計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

貸借対照表における純資産の1年間の増減を示します。

（単位：百万円）

【期首純資産残高】		単体	連結
		1,729,937	1,734,118
1 財源変動の部		△ 661	△ 2,920
(1) 財源の使途		454,555	458,716
・純経常費用		324,902	324,675
・固定資産形成等		129,653	134,042
(2) 財源の調達		453,894	455,797
・税収		193,258	193,258
・国・県補助金		90,092	90,092
・その他 分担金・負担金、社会保険料など		170,544	172,447
2 資産形成充当財源変動の部		16,278	18,776
(1) 固定資産の変動		5,041	5,470
(2) 長期金融資産の変動		6,753	8,823
(3) 評価・換算差額等の変動		4,483	4,483
3 その他		203	82
【当期変動額】		15,820	15,938
【期末純資産残高】		1,745,757	1,750,056

- ・純資産は、純経常費用により減少したものの、税収や国・県補助金、長期金融資産の変動により、1年間で159億円増加しました。

## （4）資金収支計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

1年間の資金（現金預金など）の増減を、性質の異なる3つの区分に分けて表しています。

（単位：百万円）

【期首資金残高】		単体	連結
		13,598	20,633
1 経常的収支		77,300	78,779
(1) 経常的支出		351,188	357,969
(2) 経常的収入		428,487	436,748
2 資本的収支		△ 65,460	△ 60,830
(1) 資本的支出		92,325	88,798
(2) 資本的収入		26,865	27,968
1+2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)		11,840	17,949
3 財務的収支		△ 10,769	△ 18,695
(1) 財務的支出		130,922	142,653
(2) 財務的収入		120,152	123,958
【当期資金収支額】		1,071	△ 746
【期末資金残高】		14,668	19,887

- ・税収などにより経常的収支で生じた資金を他の収支に充てた結果、資金残高は199億円となっています。
- ・経常的収支と資本的収支を合わせた基礎的財政収支（プライマリーバランス）は、179億円となっています。

### 注

- ※ 各表の金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ※ 各表下部の囲み欄の金額は、連結ベースに係るものです。
- ※ 矢印は、各表の収支尻の対応関係を示しています。
- ※ 用語の説明  
単体・・・一般会計＋特別会計＋企業会計  
連結・・・単体＋本市と連携協力して行政サービスを実施している関係団体等